

3. 基地の沿革

昭	15.	4.	旧陸軍飛行第5連隊（立川）附属多摩飛行場として設置。当時の滑走路は1,300m。
	20.	9.	米軍（第一騎兵師団一個中隊）が進駐し、旧陸軍の施設を接收。
	21.	8.	第3爆撃飛行大隊が進駐し、公式に基地が開設された。
	24.	7.	第41航空師団隷下第6102航空管理部隊が進駐し、第41航空師団第441戦闘支援部隊、第609偵察中隊等が配備された。
	25.	5.	第3爆撃飛行大隊がジョンソン基地（現：入間基地）に移動。
		6.	朝鮮戦争を契機に滑走路が約2,400mに延伸され、B-29を主力とする第92、98爆撃隊、ジェット機を擁する第35戦闘機連隊が駐留、これに伴い騒音が激化する。
	27.	2.	横田基地所属のB-29が埼玉県入間郡金子村（現：入間市）に墜落、住民と搭乗員17名死亡。墜落時に送電線を切断し西多摩地域等で広範囲にわたり停電。
	29.	1.	瑞穂町箱根ヶ崎の畑地にジョンソン基地のジェット機墜落。乗員2名死亡。
		12.	瑞穂町長岡に米軍機墜落、乗員1名死亡。
	30.	6.	第35戦闘機連隊の下に第40迎撃戦闘中隊（F-86）が配備された。
	31.	7.	町と国で横田基地の拡張に伴う「覚書」に調印した。
		8.	町との覚書により、滑走路拡張用地約376,000㎡を買収して提供し、さらにその隣地75,900㎡を借上げ、航空障害物制限区域を設定した。
	32.	10.	第35戦闘機連隊が解散した。
	33.	3.	国道16号及び八高線の移設。旧射撃場跡地へ瑞穂中学校の新校舎落成。
	35.	11.	狭山市のジョンソン基地の滑走路施設返還によって、第41航空師団及び第3爆撃連隊がB-57爆撃機やF-102迎撃戦闘機を伴い移駐する。滑走路が現在の3,350mに。
	37.	1.	滑走路両側に接近灯（アプローチ・ライト）を設置。
	38.	5.	横田基地所属のB-57爆撃機が埼玉県入間郡毛呂山町の病院に墜落。病院職員1名死亡。
	39.	4.	第3爆撃連隊が米本国へ引揚げる。
		5.	第8戦闘爆撃師団の第35・36及び第80戦術戦闘機中隊が板付空軍基地からF-105DとKC-135を伴って移駐し、第41航空師団の所属となった。また、第40迎撃戦闘中隊は、米本国に引揚げる。
		7.	町及び町議会は、米軍のF105戦闘機の横田移駐に反対し、国に要望書を提出。
	40.	4.	第6441戦術戦闘航空団が編成され、第35・36及び第80戦術戦闘機中隊、第6091偵察飛行隊が傘下となる。
	41.	11.	第6441戦術戦闘航空団が解散し、傘下の部隊は第41航空師団の所属に戻る。
	42.	8.	瑞穂町議会騒音対策特別委員会で航空機の騒音調査を実施。
	43.	1.	第41航空師団が解散、第347戦術戦闘機連隊が編成され、F4ファントムが配備された。
	44.	6.	瑞穂町議会騒音対策特別委員会が基地対策特別委員会に変更。
		11.	町と議会は、F4ファントム機配備反対に関する要望書を国に提出。
		12.	立川基地の航空機運行停止に伴い、第36航空救難救助中隊が移駐した。
	45.	5.	旧16ゲート部分約10,800㎡及び滑走路の南東側面17,000㎡を提供。
		12.	町と議会は、超大型輸送機C-5Aギャラクシー飛来に伴う決議文を関係機関へ送付。
	46.	5.	F-4ファントム戦闘爆撃機群が沖縄・米本国に移駐し、第347戦術戦闘機連隊は、沖縄

昭 46. 11.	<p>の嘉手納基地第 18 戦術戦闘機隊に編入された。また、第 6100 基地管理連隊が発足。第 6100 基地管理連隊は、第 475 基地管理連隊と改称し、更に米空軍横田基地在日管理司令部（第 475 航空団、475th Air wing）と呼称することとなり、所沢、大和田通信施設等の米空軍施設の管理にも当ることとなった。</p>
47. 1.	<p>関東地区の米軍施設を 3 年間で横田基地に整理統合することがロジャース米国防務長官との間で合意。</p>
1.	<p>議会は、関東地方の米空軍施設横田基地に統合反対決議。</p>
2.	<p>横田基地北側地域地区約 76,600 m²が追加提供される。</p>
3.	<p>ミドルマーカ―用地 437.50 m²、電力線地域 259 m²及び電波障害クリアランス地域 16,488 m²の計 16,747 m²が追加提供される。</p>
7.	<p>B-727 のエンジンカバーが瑞穂町内に落下。</p>
48. 1.	<p>第 14 回日米安全保障協議委員会において関東平野地区における空軍施設の大部分を横田基地に整理統合する関東空軍施設整理統合計画（KPCP）が決定された。</p>
1.	<p>1 月 23 日の合意を受けて、瑞穂町議会の全員協議会は、町ぐるみの横田基地統合反対実行委員会を設置することを決定。</p>
3.	<p>横田基地統合反対実行委員会は町民の意向をくんで、関東空軍施設の横田基地統合反対決議文を関係機関に提出。</p>
8.	<p>武蔵村山市道 43 号線拡幅用地として土地の一部（227 m²）が返還された。</p>
49. 11.	<p>在日米軍司令部及び第 5 空軍司令部が、府中空軍施設から移転。</p>
50. 3.	<p>政府は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、横田飛行場を特定防衛施設に指定。</p>
50. 9.	<p>第 374 戦術航空団傘下の第 345 戦術空輸部隊が沖縄の嘉手納基地から C-130E 16 機を伴い移駐。</p>
51. 4.	<p>住民は、国を相手どり夜間飛行の差止め及び損害賠償請求（第 1 次公害訴訟）を東京地裁八王子支部へ提訴。</p>
10.	<p>CH-46 の窓枠が瑞穂町駒形富士山の民家に落下。</p>
52. 11.	<p>第 2 次公害訴訟提訴。</p>
11.	<p>都道 2・1・5 号線用地としてアプローチライト部分 351 m²が返還された。</p>
53. 3.	<p>東住宅地区沿いの立川市道 1068 号線用地として 145 m²が返還された。</p>
54. 8.	<p>防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 4 条、第 5 条により、第一種区域（WECPNL85 以上）、第二種区域（WECPNL90 以上）が指定された。</p>
55. 1.	<p>横田基地常駐機 UH-1P に代わり、UH-1N が配備された。</p>
8.	<p>熊川交差点拡幅用地として南側アプローチ用地 742 m²が返還された。</p>
9.	<p>防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 4 条の規定により、第一種区域（WECPNL80 以上）が追加指定された。</p>
56. 7.	<p>横田基地騒音公害訴訟第 1 審判決（夜間飛行差止め却下）。</p>
8.	<p>法務省入国管理局横田出張所庁舎用地として 747 m²が返還された。</p>
57. 6.	<p>国道 16 号拡幅に伴い、横断歩道橋用地 23 m²が返還された。</p>
7.	<p>第 1 次・第 2 次訴訟団の家族 605 名からなる第 3 次訴訟が東京地裁八王子支部に提訴された。</p>

昭	58.	1.	米空母ミッドウエーの艦載機による着陸訓練が開始された。	
	59.	3.	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第4条の規定により、第一種区域（WECPNL75以上）が追加指定された。	
平	60.	1.	横田基地常駐機T-39に代わって、C-21A2機が配備された。	
		9.	国道16号拡幅に伴う用地約39,000㎡が返還された。	
	62.	7.	第1次・2次横田基地騒音公害訴訟控訴審判決（夜間飛行差し止め却下、損害賠償額積み増し）。	
	1.	3.	第3次横田基地騒音公害訴訟判決（夜間飛行差し止め却下）。	
		9.	フィリピンクラーク基地から後方支援部隊の5部隊（第600空軍音楽隊、第1837電子機器設置隊第1派遣隊、太平洋通信師団分遣隊A班、第9航空医療救難飛行隊、第20航空医療空輸隊）がC-93機を伴い移駐。	
		12.	第21戦術空輸飛行中隊がC-1304機を伴い移駐。また、第374戦術空輸航空団が横田へ配属となり、第316戦術空輸群司令部は解散し、C-130関係部隊は第345戦術空輸飛行隊と第21戦術空輸飛行隊となった。	
		3.	1.	湾岸戦争勃発。輸送機が中東に出動し、離着陸回数減少。
		4.	4.	第475航空団と第374戦術空輸団が合併し、基地管理部隊として第374空輸航空団が活動を開始する。
		6.		羽田空港拡張に対応するため横田空域（関東西部から新潟、静岡両県にまたがる高度6,900m以下の空間）のうち、空域全体の10%に当たる、日野市から三浦半島にかけての南側一部が返還された。
		7.		引込線部分約16㎡が返還された。
		5.	2.	第1・2次横田基地騒音公害訴訟判決（夜間飛行差し止め棄却）
			5.	第3次横田基地騒音公害訴訟判決（夜間飛行差し止め却下）損害賠償額が確定。
			5.	横田基地内北住宅地区の工事現場で、第2次世界大戦中で使用されたとみられる250kg爆弾の不発弾が発見される。
			7.	陸上自衛隊により不発弾処理される。
		10.		横田基地内において、貯油タンク内の航空機燃料 68kl【18,000ガロン】（ドラム缶約340本分）が漏出したことが判明。
		11.		第3次横田基地騒音公害訴訟に関する和解案が東京高裁から提示。
		11.		横田基地で初めて艦載機の戦闘機、攻撃機の着陸訓練実施。
		11.		日米合同委員会で、22時から明朝6時までの飛行制限が合意。
	6.	2.		第3次横田基地騒音公害訴訟に関する和解協議決裂。
		3.		第3次横田基地騒音公害訴訟東京高裁判決。原告、被告ともに上告断念。
	11.		横田基地飛行差し止め訴訟団発足。	
	12.		横田基地飛行差し止め訴訟団東京地裁八王子支部に提訴。夜間飛行差し止め等請求。	
7.	3.		在日米軍による防空演習（Air Defense Exercise, 95）実施。	
	10.		横田基地内航空機燃料漏出事故、在日米軍最終報告書発表。	
	10.		横田基地内航空機燃料除去作業開始される。	
8.	1.		横田基地内環境保全説明会及び航空機燃料漏出事故現場確認。	
	4.		新横田基地公害訴訟団東京地裁八王子支部へ提訴。	

平	8.	4.	原告過去最高 3,138 人。初めて米国も相手取る。
		5.	米軍機 (C-130) 砂袋を横田基地外緩衝地に誤投下。
		5.	米軍機 (C-141) 着陸時ブレーキ故障により発煙。
		5.	青島東京都知事横田基地視察。5 市 1 町首長と意見交換。連絡会に都の参画合意。
	11.		『横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会』発足。
	9.	2.	新横田基地公害訴訟団、東京地裁八王子支部へ二次提訴。
		2.	『横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会』防衛施設庁関係機関への総合的 要請実施。要望書提出。
		2.	『横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会』劣化ウラン弾の情報提供を要請。
		3.	新横田基地公害訴訟却下「外国に裁判権及ばぬ」。
		5.	横田基地常駐 C-130 輸送機 7 機を、平成 9 年 10 月以降、米本土 (アラスカ州エルメン ドルフ空軍基地) 移駐を発表。
		6.	沖縄海兵隊実弾砲撃演習先の本土移転に伴うチャーター便 (日本民間機) 横田基地へ 着陸。
	10.	7.	再度基地内の地下燃料庫より燃料漏出事故。漏出量はおおよそドラム缶 1 本分。
		7.	米軍側が燃料漏出現場を公開。
		10.	横田基地所属 C-9 が飛行中にエンジンカバーを紛失する事故発生。(後日エンジン火災 を起こしていたことが判明)
		12.	『横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会』C-9 のエンジンカバー紛失事故に 関する要請。
		12.	横田基地所属米兵、瑞穂町民に福生市内で暴行。米兵は逮捕される。
		12.	『横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会』同日付けで再発防止に関する要請。
	11.	1.	暴行を行った米兵が傷害罪で起訴される。
		4.	横田基地の基地返還・軍民共用を公約に掲げた石原慎太郎氏が都知事に就任。
		4.	瑞穂町長、新都知事に基地返還賛成・軍民共用反対の要望書を提出。
		5.	横田基地所属の C-130 が、訓練中に砂袋を町田市内の民家に誤投下する事故発生。
		5.	瑞穂町議会が、基地返還賛成・軍民共用反対の決議をし、決議文を都知事に提出。
		6.	石原都知事、基地と瑞穂・昭島の騒音測定現場を視察。 『横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会』の臨時会。
		6.	瑞穂町長が、基地司令官・防衛関係機関に対してヘリコプター訓練についての要請と、 基地司令官に対し、軍民共用等に関する質問状を提出。
		6.	昭島市長が、都知事に対して軍民共用反対の要請書を都知事に提出
		9.	町と議会で、国に対して軍民共用反対に関する陳情書を提出。(以後、毎年実施)
	10.		都が『横田基地に関する調査』の概況調査報告書を発表。 内容は、基地に民間機が就航した場合の需要、騒音影響等について また、同日都庁で『横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会』の定例会が開催 される。
		11.	瑞穂町長が都知事に軍民共用反対の要望書を提出。
	12.	7.	町と議会で、国に対して横田基地に関する要望活動。(以後、毎年実施)
		9.	都と 5 市 1 町で NLP 中止要請。

平	12.	9.	空母キティホーク艦載機による着陸訓練 (NLP) で、周辺住民から 400 件以上の苦情。
		9.	町と議会、都と 5 市 1 町で NLP に対する抗議。
	13.	1.	町と議会で、国、東京都に対して軍民共用化に反対する陳情。
		2.	町と議会で、国及び米軍に対して NLP 中止要請。
		3.	滑走路改修工事を開始。
		9.	米軍機 C-17 から部品が落下し、羽村市内工場の屋根を破損する事故発生。
		9.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、米軍機 C-17 の部品落下事故について国、在日米軍に抗議。
		9.	米同時多発テロ発生。横田基地が厳戒態勢に。
		9.	東京都が総合防災訓練の会場として横田基地を使用。
	14.	4.	新横田基地公害訴訟、上告棄却。(米政府に裁判権及ばない)
		5.	5 月から 11 月までほぼ毎月訓練 (ビバリーモーニング) が実施される。
			横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、国、在日米軍に抗議・要請。
		5.	新横田基地公害訴訟判決。(飛行差止却下、騒音被害過去分→一部賠償命令、将来分→却下)
		7.	滑走路改修工事完了。
		8.	台風 13 号の大雨により、殿ヶ谷地区の農地に雨水が流入。
		8.	横田基地日米友好祭の戦闘機による展示飛行に対して都と 5 市 1 町で抗議。
		10.	台風 21 号の大雨で、殿ヶ谷地区の農地に雨水が再流入。
	15.	1.	殿ヶ谷地区の雨水流出現場暫定措置が完了した。
		1.	第 374 副司令官のウエーバリングの提案により第 1 回横田基地助役会が開催された。
		3.	福生市方面から時限発射装置から基地へ飛しょう弾が発射された。
		8.	基地北側にあるヘリパッドから南に約 1.7km の場所に、ヘリパッドを新設。
		9.	C-9 が退役。
		12.	太陽光発電システム設置工事 (モニタリング事業) 始まる。
	16.	2.	横田基地周辺市町基地対策連絡会で、国、在日米軍に総合要請。
		5.	米軍機 C-130 が埼玉県においてエンジンのテールパイプを落下させる事故発生。
		5.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、米軍機 C-130 の部品落下事故に関する要請活動。
		6.	町が、アメリカ大使館に米軍横田基地の軍民共用化に反対する陳情活動。
		8.	米軍機 UH-1N が横浜市内のヘリポートにエンジントラブルのため予防着陸。
		8.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田基地所属ヘリコプターの緊急着陸に伴う安全確保等の要請活動。
		8.	米軍機 C-130 が横田基地友好祭においてヘルメットを瑞穂地内に落下させる事故発生。
		8.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、米軍機 C-130 のパラシュート部隊のヘルメット落下について要請活動。
		8.	横田基地管理下の所沢通信施設内において、発電機用燃料の軽油漏れ事故発生。
		10.	新潟県中越地震の被害者支援のため、東京都と横田基地周辺 5 市 1 町の支援物資が米軍の輸送機により横田基地から新潟空港に輸送された。
		11.	米軍機 UH-1N が沼津市内の野球場にエンジントラブルのため予防着陸。

平	16.	11.	米軍機 UH-1N が調布飛行場に電気系統のトラブルのため予防着陸。
		11.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田基地所属ヘリコプターの緊急着陸に伴う安全確保及び一時飛行停止の要請活動。
		12.	町と議会で、国に対して横田基地の住宅防音工事対象区域の拡充について要請活動。
	17.	2.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田飛行場に係る住宅防音工事対象区域の見直しについて要請活動。
		5.	米軍機 UH-1N が富士山付近のスキーリゾート駐車場にエンジントラブルのため予防着陸。
		5.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田基地所属ヘリコプターの緊急着陸に伴う安全確保等の要請活動。
		7.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田基地所属米兵による強盗事件にかかる規律の厳正な保持の要請活動。
		10.	住宅防音工事対象工事区域である第一種区域の一部指定区域解除の告示。
		10.	日米安全保障協議委員会（2+2）において在日米軍再編に係る中間報告がなされる。
		11.	新横田基地公害訴訟高裁判決。飛行差止→棄却、将来分損害賠償→却下（一部認定）、危険への接近→不適用、過去分損害賠償額 約 32 億 5 千万円。
	18.	2.	横田基地周辺市町基地対策連絡会で、国、在日米軍に総合要請。（24 年まで毎年実施）
		2.	在日米軍再編に関する中間報告における横田飛行場の航空自衛隊との共同使用について概ね容認を表明。
		5.	日米安全保障協議委員会（2+2）において在日米軍再編に係る最終合意がなされる。
		10.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、基地周辺対策の見直しに対する要望活動。
	19.	3.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法等に関する要望活動。
		5.	横田空域管制施設への自衛隊管制官併設を開始。
		6.	米軍機 UH-1N が横浜市 of サッカー場にトランスミッション不調のため予防着陸。
		6.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田基地所属ヘリコプターの緊急着陸に伴う安全確保等の要請活動。
		6.	町が八都県市首脳会議に対し、横田飛行場の民間航空利用等の早期実現に向けての要望に対する抗議文を提出。
		6.	C-21 から C-12 へ横田基地常駐機が変更。
		9.	横田基地内給油場で燃料漏れ事故発生。
		9.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、燃料漏れ事故の再発防止について要請活動。
		10.	町と議会で、アメリカ大使館に米軍横田基地の軍民共用化に反対する陳情活動。
		11.	国連軍後方司令部がキャンプ座間から横田基地へ移転。
		12.	米軍機 UH-1N が新座市の朝霞駐屯地にトランスミッション不調のため予防着陸。
		12.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田基地所属ヘリコプターの緊急着陸に伴う安全確保等の要請活動。
	20.	1.	航空自衛隊航空総隊司令部庁舎移転工事始まる。
		2.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、沖縄県における米海兵隊員の女子中

<p>平 20.</p> <p>6.</p> <p>6.</p> <p>6.</p> <p>7.</p> <p>7.</p> <p>7.</p> <p>7.</p> <p>8.</p> <p>9.</p> <p>21.</p> <p>1.</p> <p>1.</p> <p>4.</p> <p>12.</p> <p>22.</p> <p>7.</p> <p>9.</p> <p>23.</p> <p>1.</p> <p>3.</p> <p>24.</p> <p>2.</p> <p>3.</p> <p>4.</p> <p>12.</p> <p>12.</p> <p>25.</p> <p>3.</p> <p>7.</p> <p>7.</p> <p>8.</p> <p>9.</p> <p>11.</p> <p>12.</p>	<p>学生暴行事件を受けて周辺住民の安全確保等について要請活動。</p> <p>米軍機 UH-1N が相模原市の川原にトランスミッション不調のため予防着陸。</p> <p>横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田基地所属ヘリコプターの緊急着陸に伴う安全確保等の要請活動。</p> <p>横田基地に輸送及び整備に関する指揮司令を行う第 5 1 5 航空機動運用群が発足。</p> <p>米軍機 UH-1N が立川市又は昭島市（場所不明）にペットボトルを落下させる事故発生。</p> <p>横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田基地所属ヘリコプターからのペットボトル落下事故に関する要請活動。</p> <p>米軍機 C-130 が埼玉県においてアンテナを落下させる事故発生。</p> <p>横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田基地所属 C-130 からの部品脱落事故に関する要請活動。</p> <p>横田基地周辺市町基地対策連絡会で、国に対し防音対策事業採択に関する要請活動。</p> <p>横田空域が一部返還される。</p> <p>横田基地内の国防財務会計事務所で火災発生。</p> <p>横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田基地内での火災事故に関する要請活動。</p> <p>第 4 次横田基地騒音公害訴訟上告棄却。</p> <p>横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、防衛施設周辺対策制度の見直しについて要望活動。</p> <p>横田基地内で航空機への給油中に燃料漏れ(約 40 ガロン)発生、大半は回収。</p> <p>横田基地所属ヘリコプター(UH-1N)が調布飛行場にエンジントラブルのため予防着陸。</p> <p>横田基地所属軍人が飲酒運転で人身事故を起こし逮捕される。</p> <p>東日本大震災に際し、「トモダチ作戦」司令部を横田基地に設置(～4月)。米軍及び豪空軍が横田基地より支援活動を行う。</p> <p>横田基地所属軍属等が福生市内で強盗傷害事件を起こし逮捕される。</p> <p>航空自衛隊航空総隊司令部が横田基地への移転を完了し、運用を開始する。</p> <p>横田基地所属軍人が港区内で傷害事件を起こし現行犯逮捕される。</p> <p>第 9 次横田基地公害訴訟原告団が東京地裁立川支部へ提訴。</p> <p>猪瀬直樹氏が東京都知事に就任。軍民共用化政策を継承すると表明。</p> <p>第 2 次新横田基地公害訴訟原告団が東京地裁立川支部へ提訴。</p> <p>横田基地所属軍属とその家族が福生市内で傷害事件を起こし逮捕。被害者は 8 月に死亡。</p> <p>横田基地所属の C-130 が飛行中に部品紛失。(場所不明)</p> <p>横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、C-130 による部品紛失に関する要請活動。</p> <p>横田基地所属軍人が武蔵村山市内で交通事故。住民 1 人が重傷。</p> <p>横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、国に総合要請。</p> <p>横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、在日米軍に総合要請。</p>
--	--